

皆さん、「県」って必要でしょうか？私は、医療・介護・福祉を行っている医療法人の理事長をしています。介護老人保健施設(老健)を開設する時に、厚労省、県庁、保健所、市役所、広域連合の5つの役所を数年間説明して回り、やっと認可を得た経緯があります。民間が何かをするときに、関連の役所が多すぎるように思います。各役所は口は出しますが、責任の所在があいまいで、いったいどこが決めるんだらうという場面も度々ありました。日本は、基本的に市町村、県、国と3段階の構造になっていますが、県ってなくてもいいんじゃないでしょうか？まあ例外として、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、京都、広島、福岡くらいは、人口密度が高く30~50万人の人口では地域内が均質化してしまうため、元大阪知事の橋下さんがおっしゃるように、広域な緩やかな統合としての「都」は必要かもしれません。すると、大きな市(大体30~50万人位)あるいは一部は都と、国の2段階でいいんじゃないでしょうか？国は、国防、外交、教育、市(都)の調整、全国レベルのインフラ整備・警察消防等の仕事を行い、大きな市(都)は、それ以外の事を一元的に行えばいいのではないのでしょうか？(この点では、大阪維新の会等が言っている道州制は役所が増えるだけで私は反対です)。福井も、嶺北市、嶺南市の2つの大きな市にして、福井県を無くしたらより効率的な行政組織になると思うのです。